

皆さん、こんにちは。政府の緊急事態宣言が解除され、5月18日（月）から登校日を設定し、全員ではありませんが元気な声を聞くことができました。翌週の25日（月）からは、時差登校（30分遅れ）、6時間校時（幼・小は40分授業、中・高は45分授業）の体制で学校再会となり、賑やかな学校生活が戻ってきました。初日から多くの幼児児童生徒が出席しました。久しぶりの学校生活に気分が高まることによる体調面等の心配はありましたが、適切に対応していただき、6月1日（月）より通常授業を開催することができました。幼児児童生徒の皆さんをはじめ、ご家族の方々が本校の対応にご理解ご協力いただくとともに、自粛生活を送るなどの一人一人ができる感染予防対策のおかげだと感謝申し上げます。

さて、通常授業が始まりますが、新型コロナウイルス感染症がなくなるわけではありません。ご家庭においては「新しい生活様式」で、学校においても「学校の新しい生活様式」が必要不可欠です。「新型コロナウイルス感染症の予防」資料等（文部科学省ウェブページ参照）を教職員に周知するとともに、それに基づいて指導し、子供たちが安心して学校生活を送ることができればと思います。

学習面では、長期休業中に授業日を予定しますが、十分とは言えませんので、課題の達成状況を確認しながら、効率よく授業を実施することになります。

学校行事では、「泊を伴う行事」「文化祭」など、また「夏休み」「冬休み」等についても、「新しい生活様式」を確認しながら調整した上でお伝えしますので、よろしくお願いします。

学校の様子ですが、校内を巡回する限り、教室の換気、座席、マスクの着用、手洗いなど、一人一人が新しい生活様式を意識し、授業等に臨んでいます。これまでに紹介した畑では、花が咲き実がつき始めてます（写真1）。運動場は保健体育科の先生を中心に整備されました（写真2）。関係の先生方、ありがとうございました。幼児児童生徒が楽しく授業に参加する姿が思い浮かびます。

これまでとは異なった生活様式となりますが、子供・保護者・教職員の3密を避けることなく、しっかり対話し、子供たちの成長を促していきましょう。



（写真1）実ったキュウリ



（写真2）整備された運動場